

令和5年度



逸品



～エントランス無料企画展示～

逸品展とは、当館エントランスホールにて、齋宮秘蔵のお宝を一品ずつ掘り下げてご紹介する展示です。

第1回 齋宮の絵馬

期間 令和5年5月23日(火)～8月25日(金)

室町時代以来、齋宮の東端の絵馬の辻では、大晦日に絵馬を掛け替えるという神事がありました。その起源はよくわかっていませんが、おそらく齋宮のあった頃以来、近代まで続いていた風習だと考えられます。この儀礼を取り上げた能「絵馬」では、掛け替えるのは神様で、書かれているのが白馬だと翌年は晴天が多く、黒馬だと雨天が多いとされています。

この展示では、「絵馬」の謡本うたいぼんと能面を展示し、「齋宮世ためしの絵馬」と呼ばれ、占いとしても有名だった、齋宮の失われた神事についてご紹介します。



第2回 博物館学芸員をめざす 学生たちが企画した展示です!

期間 令和5年8月27日(日)～12月22日(金)

博物館学芸員の資格取得をめざす学生たちによる展示です。

各大学から集まった6名の学生たちが展示テーマを相談し、博物館収蔵資料の中から選んだ資料の展示を行います。どのような展示になるか、お楽しみに。



第3回 ミニ竈（かまど）と竈神（かまどがみ）

期間 令和5年12月23日(土)～令和6年3月17日(日)



「小型模造品」と呼ばれるミニチュア品は、祭祀の道具とされており、齋宮跡では様々なうつわの模造品が出土しています。展示品の「竈こしき・甑すいさんぐ・甕」は、炊爨具を造形にしたもので、本来はセットで使用される土器を模した品々です。古代の中国では、竈神は畏れられる神と信じられており、こうした信仰が日本へ伝わったとみられています。奈良～平安時代の齋宮では、どのような場面でこれらが用いられたのか、祭祀の一端をご紹介します。

第4回 平安時代の食事と器（うつわ）

期間 令和6年3月19日(火)～5月19日(日)

今から約1000年前、紫式部が活躍した平安時代には、どのような食事の風景がみられたでしょうか。齋宮跡で出土した平安時代の食器類（土器や陶器）から、当時の人々の日常の姿を探ります。

